



2023年7月16日
7月第三主日礼拝式

21 「イエス、わがすべて」

喜び 平安 愛 イエスのなまえにあり
信仰 恵み み救い イエスのなまえにあり

幸せ ゆるし 永遠のいのち

心のすべての希望

イエスのなまえにある

イエス イエス いま生きている

オオオ～

イエス イエス わがすべてです

69 鹿のように

谷川のながれを慕(した)う鹿のように
主よ わがたましい あなたを慕う

あなたこそわがたて
あなたこそわが力
あなたこそわが望み
われは主をあおぐ

新聖歌190番 「静けき祈りの」

- 1 静けき祈りの 時はいと楽し
悩みある世(よ)より われを呼びいだし
父の大前(おおまえ)に すべての求めを
携(たずさ)え至(いた)りて つぶさに告げしむ
- 2 静けき祈りの 時はいと楽し
さまよい出(い)でたる わが魂(たま)を救い
危うき道より 伴(ともな)い歸りて
試(こころ)むる者の 罨(わな)を逃(のが)れしむ
- 3 静けき祈りの 時はいと楽し
そびゆるピスガの 山の高嶺(たかね)より
ふるさと眺めて 昇りゆく日まで 慰めを与え 喜びを満たす
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌250番 「世の波風いかに荒れて」

1 世(よ)のなみかぜ いかに荒れて
われに襲(おそ)い来たるとも
イエスはわれに その安きを 与えませば恐れなし

* 主の安き 主の安き われは内(うち)に今 持てり ×2

2 全ての罪 悪しき癖(くせ)を 悔い改め 捨て去りて
この身を主の手にゆだねし わが心はいと安し

* (くりかえし)

3 よし悪魔は獅子(しし)のごとく
吠(ほ)え猛(たけ)るも何かあらん
また光の使いのごと あざむくとも誘われじ

* (くりかえし)

【次】

新聖歌250番 「世の波風いかに荒れて」

4 世(よ)の栄えも富も知恵も また誉れも死でさえも
主の賜(たま)いし その安きを
わが内(うち)より うばい得(え)じ

* 主の安き 主の安き われは内(うち)に今 持てり ×2

5 ハレルヤ 主は 世(よ)と悪魔に
すでに勝ちを得給(えたま)えば
われらもまたイエスと共に 日々 勝ち得てあまりあり

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン